

畜産業におけるその他の一般動力機械を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13~14	2号牛舎においてロールカッターの脇で倒れているのを発見した。	62	
2	10~11	寝藁を撒く機械が詰まったのでエンジンを停止し藁を取り除く作業をしていて、藁を引っ張った時に、引っ掛かっていた藁と羽の部分が一緒に動き右手人指し指が挟まり負傷した。	42~29	10
3	18~19	鶏舎室内で最終見回り時に、ホッパーのチェーンが緩い事に気づいたためテンションを張る作業中に、タイマーによりホッパーが動き出し、チェーンに指を挟まれた。自動運転の設定になっていて、タイマーで停止していたが、電源を切らないまま作業し、タイマーの時間がきて動き出した。	39~29	10
3	8~9	ペールカッターでロールわらを切っていて、ロールわらの残りが少なくなり、中々切れなくなったのでカッターの上のにり足で押さえた。そのとき上でバランスを崩し、カッターに足を挟まれてしまった。	63~9	1
3	9~10	鶏舎内で鶏に給餌作業をしている時に、餌箱に異物が入っていることに気付き、取り除こうと右手を入れたところ、餌箱の下の機械に手を挟まれ小指を骨折した。	38~9	1
3	13~14	餌置場で牧草をカッターでカットしていた時、草がカッターにつまったので取ろうとしたところ、手に草がからんで引き込まれてしまった。	47~9	1
5	15~16	草刈作業を行っている時に、落ちていた番線の破片が刃に当たって飛び上がり、足に当たり負傷した。	39~	10

				29
6	15~ 16	給餌機の修理中（鶏舎内）、（パイプ内で引っかかった機器を修理するために）電源を切り、手を入れて作業していたところ、引っかかりの取れた機器が一気にパイプ内に戻り、指が巻き込まれた。（右小指がパイプと機器に挟まれた。）	55	~ 29
6	8~9	リパックエリアで、機械がプラスチックに入っている卵を吸盤で吸い上げて、ダンボール梱包用のトレイに移す際、プラスチックトレイに正確に入っていないで抜けている状態で機械が停止したため、トレイの卵を除くために手を入れた際、機械が非常停止せず、頭部をロボットヘッドに挟まれた。その際、左頭部、右の顔から首にかけて打撲し、歯（左上糸切り歯）も欠けた。	38	~ 49
7	7~8	朝、ヘルパー作業のひとつで放牧地にトラクターで水タンクを運んだ帰り、放牧地の電牧の線をしめるため、トラクターを降りて線をしめる作業をしていた時、トラクターがゆっくりとさがって来てひかれた。	30	~ 9
7	13~14	当事業所養鶏農場敷地内で草刈り作業中、刈り草集めの手伝いをしていた被災者に、草刈機を使用して作業をしていた別の作業員が、刈り取られた草を集めるよう声をかけたところ、被災者が近くに来て「来ました」と声をかけた。作業員が草刈機を持ったまま振り向いたところ、回転していた草刈機の刃が被災者の右大腿部に当たり負傷した。	18	~ 49
7	15~ 16	会社の敷地内において、刈払機で作業中、錆びた針金が飛んで来て、長靴を貫通して足に刺さった。	59	~ 9
7	11~ 12	農場の集卵室で、ランドリーに残っている卵を取り出そうとした際、機械のギヤで右手の中指と薬指を負傷した。	69	~ 49
9	14~ 15	二次処理貯留槽のポンプのコンベラー交換時に、ポンプを階段から下ろす時に両手でポンプを持っていたが、左手の方が滑り落ち右手を巻き込む形で骨折した。	41	~ 99
	11~	牧場の牛舎の中で牧草をカッターで裁断中に、牧草が詰まったので、カッターの回		10

9	12	転を止めないで鎌で牧草を取り出そうとして鎌をカッターに巻き込まれて指をケガをする。	28	～ 29
10	17～ 18	農場内で藁切り作業終了後に後片付けをしていたところ、藁切切断機内部に牧草が残っていたため、右手で取り除く時に、機械内部の切断刃に接触して右手人差し指の先に切傷を負った。	59	～ 9
10	14～ 15	工場内の卵を選別するラインのすぐ近くに卵の洗浄機がある。その入口、出口付近に通常は触れることはないが、近くに卵の殻があり、本人が気になって取り除こうとした。その際、歯車に指を巻き込まれ、引っ張ってしまい、右手人差し指の第一関節より上を切断してしまう。	69	～ 29
10	10～ 11	鶏舎内で鶏糞出し作業時に鶏糞を掻き出すスクーパーのワイヤーに糞の固まりが付着していたので機械を停止させずに、回転しているワイヤーに手で除去を行っていた所、夢中になり回転板に指を巻き込まれ、左手の人差し指の先を切断された。	37	—
10	10～ 11	鶏舎サービスルームで、給餌機の動作確認時に、駆動部が正常に作業していなかったため、モーターが回転したまま、ベルトが摩耗し緩んでいたギアを手で弾みをつけた際に、ベルトとプーリーに指が挟まり被災した。	36	～ 9
12	13～14	離乳舎の餌搬送システムが詰まり、餌が流れにくくなった為、Vベルトとプーリーの間に左手を入れたところ、Vベルトとプーリーの間に挟まれ、不注意にも左母指を切断してしまい、救急車にて病院へ搬送された。	50	～ 9
12	8～9	鶏舎の上の奥で発生した災害である。鶏糞を除糞するためのベルトが切れたため、新品と交換しようとして作業をしていた。交換用のベルトを、鉄パイプを差して片側を隣のケージにのせ、交換しようとしているケージの上ののせる際に、除糞用の開口部蓋（合板）の上ののり、下のベルト（1m位）に落ちた（踏み抜いた状態）。その際、交換する前のベルトを押さえているバーと交換用ベルト（約10kg）に手を挟み、左手中指と薬指の第2関節の外側を切り、同時に右足脛を打った。	55	～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)

